

明日へ、 みんなで。

あきる野市議会議員

こごもり敏人

5期17年の活動とこれから

もっと、
あきる野。

2009年7月より、あきる野市議会 議員として活動してまいりました。

1期目:2009年7月～2013年6月 2期目:2013年7月～2017年6月
3期目:2017年7月～2021年6月 4期目:2021年7月～2022年6月
5期目:2022年7月～現在 本会議も常任委員会も無遅刻・無欠席・無早退!(5期17年)

この5期17年間、選挙毎に掲げてきた公約(マニフェスト)を着実に実行し、皆さんからいただいた声にも寄り添って、様々な政策をカタチにしてきました。一方、議会内でも重要なポストを任せられ、様々な改革も実行。これからも、みんなの「もっと」をカタチにして、住みよい街を作っていきます!

議会内での主な役職 福祉文教委員長、環境建設委員長、決算特別委員長、議会改革推進委員長、国民健康保険運営協議会会長、議会運営委員長、市議会議長などを務め、2021年7月には市制史上最年少で、あきる野市監査委員に就任。今期は議員定数に関する特別委員会の委員長なども担う。

あきる野生まれ! あきる野育ち! こごもり敏人 プロフィール

- 1973年** あきる野市菅生生まれ。多摩川幼稚園、多西小学校、御堂中学校、東海大学菅生高等学校、立教大学経済学部経済学科卒業。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。
- 2009年** 西の風新聞社、時事通信社での記者生活等を経て、あきる野市議会議員に初当選。
- 2013年** あきる野市議会議員に再選。議会改革推進委員長、環境建設委員長、決算特別委員長、議会運営委員長など歴任。
- 2017年** あきる野市議会議員に3選。44歳で市議会議長に就任。
- 2021年** あきる野市議会議員に4選。議会選出のあきる野市監査委員に就任。
- 2022年** あきる野市議会議員に5選。あきる野市監査委員に再任。

生年月日 1973年7月12日、かに座 **血液型** A型

家族 横浜生まれの妻(昭和女子大学卒、管理栄養士)、小学校に通う9歳の長女と6歳の長男、保育園に通う2歳の次女と5人暮らし

好きなこと 料理、子どもの絵本を探すこと、家族でドライブ

所属団体 ボーイスカウトあきる野第1団、菅生歌舞伎菅生一座
あきる野ホストファミリークラブ、
あきる野青年会議所シニアクラブ、
あきる野市ゴルフ協会、
全国若手市議会議員の会OB会 など

応援
しています!



元 三重県知事
早稲田大学名誉教授
北川 正恭



立教大学名誉教授
中村 陽一



大阪府泉佐野市 市長
千代松 大耕



栃木県真岡市 市長
中村 和彦



第50代
横浜市議長
横山 正人

全国47都道府県
に広がる
ネットワーク!





明るい未来のために

子どもたちと家族が暮らしやすいまちへ

子育て

●インフルエンザワクチンの助成

家計の負担軽減を図りつつ、子どもたちをインフルエンザから守りたい。議会で小児インフルエンザワクチンの予防接種の助成を求め、2024年10月から助成開始となりました。

●子育て応援サイトやアプリの開設

健診や予防接種など、子育てに関するあらゆる情報を集約し、ママやパパがいつでも情報を得られるサイトの開設を提案し、実現。

●産後ケアの充実や、産後ケア施設の改修費補助を推進

産後ケアの充実に取り組むとともに、産後ケアの利用が増えている中、ママたちがよりリラックスできるように施設を良くしていくための施設改修費の補助を進めています。

●産後の家事・育児支援

家事育児ヘルパー派遣制度の導入を求め、実施に。利用が伸びている一方で申請から派遣開始までの期間が長い、というケースが増えていると聞き、議会で善後策なども提案しています。



教育・学び

●小・中学生への学習支援

平成26年の9月議会で提案したことなどを受けて、28年度初めて行った小学5・6年生と中学1年生への学習支援事業。その後、対象学年の拡大が図られ、今年度からは高校生年代にまで拡大されるなど、市は年々、支援内容の充実を図っています。

●キャリア教育や国際人養成の推進

キャリア教育の推進としてオンラインやタブレットを活用した職場体験や講演会の実施を提案。また、あきる野ホストファミリークラブに所属し、国際姉妹都市の米国マールボロウ市との交流を推進。

●教育環境の充実

ICTの活用や通学路へのグリーンベルトの設置、校庭のスピーカー改善や特別支援教室の改修などを推進。

●図書館福袋の実施

図書館を利用する人たちが、新たな本や知識と出会う機会を創出する「図書館福袋」の実施を提案し、実現。現在では定期的に市内の全図書館で実施されています。





暮らしやすいまちへ 市民みんなが健康で安心できるように

健康・福祉

●がん検診の充実や健康寿命の延伸

がん検診の充実や受診率の向上を求め、同じ日にまとめて乳がんなどの検診が受診できる体制も推進。健康寿命を伸ばすことの大切さを訴え、市の長期計画などへ健康寿命の施策を展開することも明記されるようになったほか、若年層への健診の充実も推進しています。



●ケアラー支援の推進

ケアラーやヤングケアラーへの支援を訴え、市は検討を開始。市のホームページにもケアラー支援についてまとめたページが新設されました。



●デマンド型交通「チョイソコ」の導入

高齢者らの外出や買い物などを支援するワゴン車タイプのデマンド型交通「チョイソコあきる野」。これの導入を推進し、本格運行後は運行エリアの拡大に努めています。

安心・安全

●消防団や交通安全協会への活動支援

消防団員とその家族が地域のお店で割引などの優遇措置を受けられる「消防団サポート制度」の導入を提案し、実現。新たな消防車両や指令車の更新も支援。また、交通安全協会の倉庫を新設したほか、制服の新調、広報車の更新についても予算化。



●災害応援の締結

菅生学園やドラッグストア、行政書士会など、様々な団体との災害時応援協定の締結推進。

●通学路への防犯カメラなどの設置

見通しの悪い市道や通学路に、ドライバーへ注意を促す道路標示や防犯カメラを設置。

●乳児用液体ミルクなどの備蓄

防災備品の充実として、災害時に使える乳児用液体ミルクや非常用簡易トイレを備蓄。

●特殊詐欺対策

特殊詐欺の被害が深刻さを増していることを受け、その対応策として、通話録音装置の設置推進などを提案し、展開。防災行政無線でのお知らせなども強化。





様々な提案や改革

目に見えて市民が実感できる改革を

議会改革



●議会広報紙のリニューアル

議会だよりを読みやすい「ギカイの時間」にリニューアル。このアイデアや工夫は全国から注目され、視察が相次いでいます。

●全会派からの推挙を受け 議会改革推進委員長に就任

議会基本条例の制定や政務活動費マニュアルの作成、通年議会への移行など、様々な議会改革を進めました。

●議会基本条例の制定

議会改革推進委員長として平成27年の6月議会に「あさる野市議会基本条例」を提出し、全会一致で可決成立。

●通年議会への移行

議会の機動力を高め、委員会の所管事務調査を強化する通年議会を実現。この機能強化はコロナ禍において、市長の専決処分を許さず、議会の意思を反映させる仕組みとして全国からも注目されました。

行財政改革

●ネーミングライツ[※]の導入

ネーミングライツは新たな財源の確保策として全国で広がり、私も早くから議会で提案してきました。そして昨年、遂に本市でもキララホールなどに導入され、今後も拡大を図っていく方向です。

※市の体育館やホールなどの施設の名称に、企業名などを冠した愛称を付ける権利（命名権）のこと

●サウンディング型市場調査の活用

市有地などの有効活用を検討する初期段階として、民間事業者からアイデアや市場性を伺う手法で、議会で提案し本市でも活用を始めました。

●生成AIの活用促進

自治体DXを進め、業務の効率化を先進的に行っている横須賀市などを視察し、本市での導入を促してきました。現在、文書の作成や要約、事業のアイデア出しなど多岐に活用されています。

●市有地の売却および貸付の促進

未利用地の積極的な売却や貸付を図るべく「未利用地等利活用基本方針」を定め、財源確保を強化。更なる市有地などの利活用推進へ、公園や施設等への自動販売機の設置による貸付料収入増も推進。

●寄附を活用したまちづくりや広告事業の拡大

ふるさと納税やクラウドファンディングの活用などを提案するとともに、寄附実績の見える化を推進。広告は市役所のエレベーターやくらの便利帳など様々なところで新たに展開。





文化を守り 発展へ 地域の絆を大切に 誇れるまちづくりを

市民協働・デジタル化

●協働のまちづくりへの取り組み

あきる野市のホームページに協働のページが設けられました。

●オープンデータの推進

官民協働による地域課題の解決へ、オープンデータの活用を推進。オープンデータの一覧は、市の「オープンデータライブラリ」のページで公開されています。



●公共施設へのWi-Fi設置

市民の皆さんが活動しやすいように、公民館やファインプラザにWi-Fiを設置。

観光振興・産業

●全国地芝居サミットの開催

市制施行20周年記念事業の一環として平成27年度に誘致。市内に残る農村歌舞伎を全国にPRできました。

●都心に近い利点を活かして

都心に近い利点を活かし、学会や企業研修などを誘致する「MICE(マイス)」の推進を提案。コロナ禍以降ではワーケーションやロケツーリズムも推進。最近では発酵のまちづくりやチル旅の推進を提唱。

●プレミアム商品券の発行

所属する会派で発行を要望し、複数回実施。

●起業・創業支援

あきる野ルピア内に開設されたあきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staでの取り組みを推進し、Bi@Staホームページで創業した事業所や創業者の紹介といった見える化も推進。



こどもりが
提出者となった
条例の一例

くわしくは
コチラから



あきる野市議会基本条例

議会の基本理念や議員の活動原則などを定めた議会の最高規範。

市議会定例会の回数に関する 条例の改正

あきる野市議会を通年議会へとシステム変更するために行ったもの。

あきる野市公共交通に関する条例

公共交通の利用促進や維持を図り、誰もが移動しやすい環境づくりを進めていくためのもの。



信頼される議員へ 市民みんながいつでもどこでも見える

議員活動の見える化

●公式ウェブサイトでの見える化

「こごもり敏人Official Site」では、こごもり敏人の議会質問や公約の進捗状況、毎月の活動報告など、5期17年の議員活動を多角的に見える化。こごもりタイムスのバックナンバーやこれまでに掲載された新聞や雑誌などの記事も見ることができます。

公式ウェブサイト内の「これまでの一般質問」では、議長在職中を除く全ての定例議会で行ってきた「一般質問の項目」を全て掲載。これを見れば、子育てから行財政改革まで、常に幅広い分野で質問を展開しているのが一目瞭然。

市民の皆さんに役立つ情報や
議会活動などを日々発信中！
こごもり敏人 オフィシャルサイト
<https://www.kogomori.com/>



●こごもりタイムスの発行

元新聞記者のこごもりの日々の活動を分かりやすくまとめて発行している、その名も「こごもりタイムス」。公式サイトからもダウンロードできます。



●FacebookページなどのSNSで 情報提供

FacebookページやX、公式サイトなどを通じて、市の新たな取り組みや子育て支援情報、街のちょっとした話題など、市民に役立つ情報を幅広く発信しています。



●記者の現場感覚で意見交換

様々なものをカタチにしていくため、新聞記者の経験を生かして、フットワーク軽く現場へ行って皆さんと意見交換。いただいた声を着実に市政へ反映させています。

●国や全国の議員とも連携

これまでの議員経験で、今や信頼ある議員ネットワークは国や全47都道府県に広がり、各地の優れた取組みの情報を、いつでもどこからでも得られる体制を構築。これが政策を進める上で大きな力になっています。



国のデジタル大臣として霞が関の働き方改革や行政手続きの効率化に生成AIの活用を積極的に進めてきた河野太郎衆議院議員（元デジタル大臣）やデジタル庁の知見を取り入れ、市のデジタル化や生成AI活用に取り組んできました。

河野太郎 衆議院議員からの
メッセージ動画はこちら





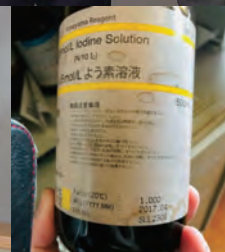
市議会議長としての2年間

2017.7-2019.7



監査委員としての5年間

2021.7-2026.7



議場見学は議長自ら説明

小学生などの議場見学では、議長自ら積極的に応対。子どもたちの様々な質問にも全て答え、「将来、この中から議員が誕生してくれたらなあ」と、よく思っていました。また、ご覧になりたい団体見学の方には議長室もオープンにしていました。

様々な市民イベントに参加

市議会を少しでも身近な存在と感じてもらえるように、40代の議長らしくフットワーク軽く様々な行事やイベントにどんどん参加して、市民の皆さんとの対話をし続けました。若いところで始球式を頼まれることもよくありました。

監査の質の向上

年間の監査計画を大幅に見直し、各監査・審査・検査の充実及び連動を図る一方、他市の監査委員事務局への視察や、自治体監査に精通している有識者を招いての独自研修も実施するなど、監査等の質の向上や品質管理を進めました。

学校監査などの新たな取り組み

本市の監査ではこれまで展開されていなかった学校監査や指定管理者への監査、また指摘事項に対する措置状況の公表など、様々な新たな取り組みも行い、市の監査のページで公表しています。

議長公務日誌を公開

「議長が日々どんな活動をしているのか見えないな」と議員になってからずっと思っていました。そこで、議長就任時から日々の主な行動を市議会のホームページで公開する「議長公務日誌」というページを新たに設けました。

都内の議長らと連携

東京都市議会議長会（都内26市）として東京都へ要望書を提出（初の試み）したほか、西多摩8市町村の議長らと東京都へ森林環境税の活用に関する要請を行うなど、都内の議長たちとの連携を密にして行政を前へ進めました。

デジタル化の推進

監査業務の効率化やDXの推進を目的に、東京インタープレイ株式会社と市との間で、監査業務のデジタル化に関する連携協定を締結しました。これは全国初の取り組みです。

視察の受け入れ

この数年で加速度的に様々な取り組みを展開している本市の監査業務を学びたいと、視察に来られるケースも出てきました。我々も学ばせていただけたので、積極的に受け入れています。

市議会の封筒も一新

「議会の大事な顔」である封筒のデザインによって議会の印象も変わると思い、議長として職員らと協力し、封筒のデザインを一新しました。

全国サミットなどでも講演

「全国地方議会サミット2018」に登壇し、講演などを行ったり、学会や全国の議会にも講師として招かれ、地方自治の発展にも尽力しました。

市民に身近な監査へ

監査計画の基本方針に「市民の視点に立ち、市民に身近な監査」を明記し、代表監査委員とともに、市民の皆さんにとって「見える、わかる、伝わる」ように努め、監査等の報告書の書き方をはじめ、市ホームページ内の「監査のページ」の内容や発信の仕方も大幅に見直しました。



地域活動

交通安全運動

地域の交通事故防止に取り組む「交通安全協会」に所属し、交差点や祭礼での交通指導などに汗をかいています。



国際姉妹都市交流

あきる野市と国際姉妹都市を結ぶ米国マールボロウ市にホームステイし、「あきる野市国際化推進青年の会」の会長を務めた経験から、市民の交流や後輩の育成に長年取り組んでいます。



ボーイスカウト活動

「ボーイスカウトあきる野第1団」に長年所属し、今は団の運営を支える育成会の副会長となって、スカウトたちの活動をサポートしています。



農村歌舞伎

地元菅生に伝わる郷土芸能の農村歌舞伎「菅生歌舞伎 菅生一座」の保存・継承に携わり、役者もやっています。



全国若手市議会議員の会 副会長

35歳までに初当選した超党派の若手議員で組織する「関東若手市議会議員の会」の会長を務め、その翌年には「全国若手市議会議員の会」の副会長に就任しました。当時、全国に500人超の会員があり、改革意欲の高い若手議員のトップとして、皆を引っ張りました。



全国各地で講演

全国の市や議会、大学などから議会改革等に関する講演依頼もよくいただきます。子籠の改革マインドは全国へ。お役に立つなら積極的に受けています。

全国行脚

マニフェスト大賞の実行委員長

全国の地方議員や市長らの優れた政策を表彰する「マニフェスト大賞」の実行委員長を2年連続で務め、現在は全国に約800人の会員がいる「ローカル・マニフェスト推進連盟」の共同代表を務めています。政策力ある議員をもっと全国に増やすべく、全国の仲間と切磋琢磨しています。



執筆活動

行政や議会の専門誌からの執筆依頼をはじめ、全国各地の報道機関からの取材も多々あり、応じています。

これからの
重点政策

市民みんなの もっと、 をカタチに!



これからも、あきる野市民の「もっと」に全力で応えます!



← 詳しくは「こごもり敏人OfficialSite」にて

マニフェスト実行率

これまで
ずっと! **100%**

1期目から5期目まで17年間、選挙公約として掲げたマニフェストの項目は全て実行してきました。



もっと、子育て支援。

子育て力



私自身も子育て真っ只中! 働く子育て世代の目線で、パパもママも働きながら安心して子育てができる環境づくりに全力を注いでいます。

- 産後ケアの充実や産前産後のサポート、家事・育児支援の充実
- 子育て応援サイトの内容充実 ●子どもの医療費や予防接種の助成拡大 など

もっと、教育支援。

教育力



全ての市民に対する学習環境の充実をはかり、あきる野らしい教育風土も育てます。

- 特別支援教育の充実 ●図書館の充実 ●寿大学の活動支援
- 児童・生徒の学力向上や教育環境の充実(不登校支援、部活動改革の推進等) など

もっと、若者支援。

いきいき力



地域の未来を担う若者が健やかに育ち、社会に参画して、チャレンジもできるよう、後押しするまちづくりを進めます。

- 若者のまちづくりへの参画推進 ●若者が集まれる場づくり
- 若者のチャレンジへの後押し ●若年層健康診査の充実 など

もっと、健康づくり。

いきいき力



市民みんなが健康で、高齢者や障がい者もいきいきと安心して暮らせる「やさしいまちづくり」や医療の充実をはかります。

- がん対策の推進 ●健康寿命の延伸 ●検診受診率の向上
- 認知症対策 ●スポーツの推進 ●フレイル予防の推進 など

もっと、
あきる野。

市民の皆さんに役立つ情報や
議会活動などを日々発信中!!

こごもり敏人 オフィシャルサイト

<https://www.kogomori.com/>

こごもり



つながろう。



こごもり敏人と「もっと、あきる野」の会

〒197-0801 東京都あきる野市菅生1753 ☎080-1202-7567 ✉info@kogomori.com [討議資料]